



3月14日
(午前)



3月14日
(午後)

議案第1号 令和4年度鈴鹿市一般会計予算

マイナンバーカードの普及に伴い証明書コンビニ交付が増加

○証明書発行費 1,408万2,000円

○証明書コンビニ交付事業費 1,640万8,000円

【概要】 証明書発行費は、印鑑証明発行事務に使用するトナー、改ざん防止用紙などの印刷製本費、人件費などを計上するもの。証明書コンビニ交付事業費は、マイナンバー対応マルチプリンター用専用紙などの需用費、証明書コンビニ交付システム運用業務委託などの委託料、証明書コンビニ交付システム負担金などを計上するもの。

質疑 窓口申請による証明書の発行や、コンビニでの証明書の交付はどのような状況になっているのか。

答弁 現在、窓口申請で取得できる証明書の約8割がコンビニ交付に対応している。令和3年度途中までの実績は、コンビニでの交付率が約11%となっており、過去数年間において4%前後で推移してきたことと比較しても、マイナンバーカードの普及に伴い利用が大幅に増加している。



市役所本館1階に設置している
証明書自動交付機
(コンビニに設置しているものと同型)

放課後児童クラブの待機児童対策を実施

○放課後児童対策費 3億9,258万8,000円

【概要】 放課後児童クラブの事業の実施に必要な運営費の補助、市が保有する施設の維持管理のための諸経費などを計上するもの。

質疑 放課後児童クラブの待機児童対策として、どのような取り組みを行っているのか。

答弁 待機児童対策として、令和4年度の放課後児童クラブの利用希望者を把握するため、令和4年4月に新1年生になる児童を持つ保護者を対象に、保育園・幼稚園などの協力を得て、放課後児童クラブの利用希望に関するアンケート調査を実施した。

その調査結果から待機児童の発生が懸念された場合には、支援単位や定員の拡充を行い、量の確保に努めている。



放課後児童クラブの様子